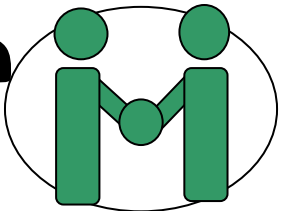


# 宮川



まちづくり協議会だより

平成30年10月31日現在  
【世帯数】 240 戸  
【人口】 男：341 名  
女：357 名  
合計：698 名

発行日：平成30年11月20日

発行：宮川まちづくり協議会



はじまるよ～！

ふるさとまつり  
【特集】宮川





11月4日は1日中良い日よりで、今年も無事にふるさとまつりを執り行うことができました。

今回は、ふるさとまつりを振り返るアンケートを実施してみました。回答者数は少ないのですが、良かった点や、もっと良いものにするために取り組むべき点など、色んな意見が出ました。

この結果を見ながら、これからも宮川地区民にとってより良いふるさとまつりにするために何が出来るか、みなさんも考えてみて下さい。

**アンケート回答者**

小学生	… 18人
10代	… 1人
20～30代	… 5人
40～50代	… 17人
60代～	… 13人

### 質問① ふるさとまつりの感想

#### ➢ 一般人 (36人中)

凄く残念	0
残念	2
普通	17
満足	14
凄く満足	1

(2人未回答)

#### ➢ 小学生 (18人中)

凄く残念	0
残念	0
普通	5
満足	4
凄く満足	9

### 質問② 良かったところ

- は大人
- ◇ は小学生 の意見です。
- 保育園や小学校の発表。小学校閉

校前のラストステージは感動した。

- 少人数でありながら、児童の大きな歌声とともに教職員の特技も生かした合唱は初めてのことであり、感動しました。ご協力に感謝の気持ちでした。(同意見多数！)
- 天候に恵まれたところ。
- さばトラななちゃんが好評。
- 生バンドの演奏
- 各団体の代表メンバーが協力し合い、1つのイベントが出来たところ。
- ペーパークラフト
- 抽選会の体協賞(みんな使えるものをもらえた。)(同意見多数！)
- 食改のスープや焼き芋のふるまい
- 地区対抗の水運び
- 鳳足石を釉薬に使った珍しい焼き物の実物を見ることが出来たこと。
- また野菜の品評会があったこと。
- みんな楽しそうだったところ。
- 若狭の恵の野菜販売があり、お買



い得価格で良かった。

- 老人クラブの焼き芋のふるまいには頭が下がります。苗植え、管理（イノシシにも負けず）、洗って干して焼く。いつもいただいて、ありがとうございます。
- ◇ 「わたしたちの大切な場所」と校歌をしっかりと歌えたところ。
- ◇ 地震体験車（小学生 8 人）。
- ◇ 色々な体験ができたところ。
- ◇ 抽選会
- ◇ 焼き芋
- ◇ 無料の食べ物（同意見多数）。
- ◇ （ひまわり荘の出店で）子どもたち全員が楽しめるように、1人2回までと工夫してあったところ。
- ◇ ペーパークラフトで上手くウサギが作れた。

### 質問③ 改善するとよいところ

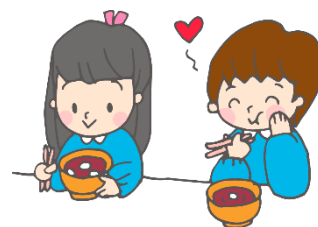
- 屋内と屋外に人がばらけた。最終

の抽選会では多くの客が戻ってきたので、中間でもミニ抽選会をはさむ？（同意見多数）

- 外の取り組みも、可能なものは中に移したら？外テーブルの数を減らして中で食べる様に仕向けるなどして、地域の一体感がとれる工夫が必要かな。（など、同意見多数）
- 敬老会と構成が一緒のため、目新しさが無い気がする。統一しても良いかと思えます。
- 毎年何か一つの目玉企画を。
- 人を呼び込むための工夫が必要。
- 小学校が統合するので、他の3校との交流があっても良かった。
- 農家組合と恵の野菜の販売は1つにするべきでは？
- おむつ替えスペースがない。
- 飲食ブースで、子ども用フォークを用意してもらえると助かる。
- ペーパークラフトは嬉しかったが、

2階だと外で遊びたい子と2人を見れない。もう少し短時間で出来ると嬉しい。

- 駐車場が少ない。
- 準備の手間がかかりすぎて役員さんの準備が大変。簡素化できるところはした方がよい。（同意見多数）
- ◇ 宮川の人全員が来るようにする。
- ◇ もっと色々なお店を出してほしい（同意見多数）。
- ◇ もっと色々な食べ物が欲しかった。子どもが遊べる場所（屋台）を増やした方がいい。
- ◇ （体協の）競技をもっと増やしてほしい。
- ◇ ペーパークラフト教室以外にも、小さい子どもが楽しめる簡単な体験教室も出したらいい。





#### 質問④ 来年するとよいと思う 企画や展示・出店など

- 閉校にともなう地区行事のあり方を検討する。体育祭とふるさとまつの合同開催など（同意見多数）。
- はしご車など、働く車を出す。
- 老若男女がそれぞれ年相応に進んで参加できる催しの企画。農作物の品評会は屋外の方が、人が集まりやすいのでは？
- 野菜を出品してくれる家がかなり少なくなり、一軒一軒回って聞きにいかねばならないので大変。どうしていくか、検討するべき。
- 良しにつけ悪しきにつけマンネリ化しているので、何か一工夫。
- 美郷小での宮川っ子の活動報告。
- 名田庄太鼓など、和の音楽の方が高齢者には向いている気がする。
- 鳳足石を利用した陶芸体験&展示。
- 他の行事と併せるなどして盛大に。

- 子どもが喜びそうなゲームやくじ引き。お年寄りに昔遊び（あやとりやコマ回し）を教えてください。
- ふるまい大鍋（豚汁など）。食い放題・詰め放題。
- 子どもの作品展は続けて欲しい。
- 児童の自主的な活動（歌・踊り・ゲーム・発表など）のできる場を設ける工夫をする。
- 老人の人で、自分で行くことが出来ない人が、送迎があれば行きたいという話があった。
- 他の行事もふくめて、各役員さんの負担が軽くなると思う。（同意見多数）
- 不要になった子供用品などを集めて、フリーマーケットなどをすると、更に人が集まると思う。
- 宮川内に住み、趣味でお菓子やパンなどを作る人たちが、役員としてではなく自由に出店できるマルシ

エのようなものをするといと思う。公民館の敷居を低くして、一般の人も事前に意見を出し、それをまとめてくれる人がいるといいな。

- また、餅まきやお菓子まきをしてくれると、会場が盛り上がりって良いと思う。

- ◇ じゃんけん大会、くじ引き（多数）、ゲームの店、たこ焼き、唐揚げ、的当て、金魚すくい、餅まき。
- ◇ 図書室でロボット作り、ペーパークラフト、風船飛ばし、リレー。
- ◇ もう少し変わった（楽しめる）お店。

いかがでしたか？またご意見やアイデアなどありましたら、公民館職員に聞かせて下さい。



前田校長先生

桑田館長

に

インタビュー

ふるさとまつりを終えて…



**吉村:** ふるさとまつりお疲れさまでした！まずは、今の率直なお気持ちは？

**館長:** 天候に恵まれて本当に良かった！朝早くに雨が降った時にはどうしようかと思ったが、それが止んで予定通り執り行えたのでホッとしています。

**吉村:** やはり、他の行事と比べてふるさとまつりにはかなり気を遣いますか？

**館長:** 敬老会の企画より気をもみます。プログラムを組むのが一番大変で、外部から誰を呼ぶかもそうですが、時間の配分に一番苦労します。今回も開始早々時間が押ししまい、ハラハラしました（笑）

**吉村:** 今年は外部から「UTAI with Aバンド」と「高田ひとみ」さんが来てくれましたね。

**館長:** 「UTAI with Aバンド」さんは、今年のひまわり荘の夏祭りに「ステップバンド」というバンド名で、加茂区の女性がボーカルを担当して出演していました。それがとても良かったので、今回出演をお願いしました。今回はそのボーカルの方の都合が合わず、違う方がボーカルとして出演してくださったわけです。歌だけでなくトークがとても上手な人でした。

高田さんは一昨年も出演してもらったが、やはりふるさとまつりの観客層に合っていますね。

敬老会と違いふるさとまつりでは、全ての年代層に楽しんでもらえる出演者を考えるのが難しいです。

**吉村:** お客さんの反応はどうでしたか？

**館長:** 反応というか、この日はよい天気にも恵まれたので、小学生の発表が終わると体育館にいた保護者を中心とする地区民が大勢外に出てしまい、「UTAI with Aバンド」が始まる前にまた人を体育館に呼び戻さなければな

らなくなりました。後で一部の人から、次からはゲストステージはお昼の時間に合わせて組むと観客も屋内にたくさんいるので良いのではないかと提案を受けました。この点をどうするかは来年への持越し課題です。

**吉村:** そうですね、プログラム構成は本当に難しいですね。話は変わって、今年は野菜の即売会に3年ぶりに品評が戻ってきました。

**館長:** 野菜の即売会は大賑わいでした。午前中のうちに即売コーナーに大勢の人が群がり、野菜の購入予約が入っていました。品評を復活させたのは、生産者から「品評があった方が張り合いがあつて良い。」という意見があったからです。しかし一方で、品評されると気楽に出せないという意見もあり、難しいところです。

**吉村:** 今年の金賞は大谷区の明河宗一さんでしたね。

**館長:** 嬉しそうでした。明河さんは、もうずっと前から老人クラブの「焼き芋のふるまい」に使うサツマイモを無償提供してくれていて、ありがたいと感謝しています。

**吉村:** あのサツマイモ全部ですか？

**館長:** そう。ご本人は「いつまで作ることが出来るかなあ。」と言っていたが、是非来年も元気に作って欲しいです。

**吉村:** 最後に、館長からみて今後の課題は何かありますか？

**館長:** やはり、年々ふるさとまつりに来てくれる住民の数が減っていることです。その要因は色々あると思っていて、若い人たちは週末に用事や仕事が重なってしまうためかな、と。また、敬老会の時と違い送迎がないので、高齢化が進む宮川では小学校まで足を運ぶ手段がない高齢者が増えているためではないかと思えます。

**吉村:** なるほど。来年からは宮川小学校も閉校になるので、子どもたちやその保護者たちにどうやったらふるさとまつりに来てもらえるかを考えないとイケませんね。

**館長:** あと、昔と違って宮川住民によるサークルなどの活動団体やカラオケに参加する人も少なくなっているのが、若い人たちの中でそういう動きが出てくると大変嬉しいです。来年は、総務省の「まほろばの里若狭みやがわ創生事業」として取り組み出している、地元の若者による太鼓をお披露目できるのではないかと考えているので、楽しみです。

**吉村:** それはとても楽しみです！そういう風に住民参加型にすると、身近な人を観ようと大勢の住民がふるさとまつりに足を運んでくれるようになるでしょうね。〈終〉

# ほかにも、宮川地区でこんなことがありました



10月16日(火)

## 宮川小学校 マラソン大会



快晴のもと、宮川の自然の中を子どもたちは力いっぱい走り抜けました。



交通整理をする老人クラブの方をはじめ、地区の方も応援してくれています。

10月17日(水)

## 老人クラブ ゲートボール大会



出場者のみなさん、真剣に戦いました。やってみると面白いらしいです。



**優勝は戸区!**

10月19日(金)

## 脳震とうを起こしたウグイス

公民館事務室の窓ガラスにウグイスが激突!しばらく脳震とうを起こしていましたが、館長が巣箱へ入れてやると間もなく飛び立ちました。気を付けてね!



10月27日(土)

## 児童館でハーバリウム教室



児童館の谷川さんが事前にシリカゲルを使って作っておいてくれたドライフラワーを参加者が瓶の中に詰めていき、最後にオイルを満たして思い思いの世界を作り上げました。子どもに負けず大人も真剣でした(笑)。



「お花が好き」と、真剣なKさん。  
みんなの作品の一部は、次のページで紹介!

11月07日(水)

## 美郷小へのバス通学訓練

来年からバス通学になる子どもたち。各地区の仮バス停からそれぞれ乗り込み、美郷小へ登校しました。



登校後、一度宮川小学校へ戻って授業を受けた子どもたちは、午後にまた美郷小へ行き、そこから各地区へバスで下校しました。



来年からはこれが当たり前の光景になるのですね。

11月08日(木)

## 秋の議会報告会



定例会の報告後の今回のテーマは「空き家対策」でした。宮川地区の世帯数に対する空き家率は約 11.5%らしいです(最高は中名田地区の 23.0%)。



# ハーバリウム

「ハーバリウム」とはもともと「植物標本」のことですが、現在ではドライフラワーやプリザーブドフラワーを瓶に入れて1年以上色鮮やかなまま鑑賞できるインテリアとして大人気です。



ガラスの中の、  
色とりどりの美しさ。



## お知らせ

### ☆🎅12月の行事予定🎄☆

- 06、20（木）小浜病院巡回診療日
- 08（土）生活発表会・クリスマス会（宮川保育園）
- 15（土）奉仕作業（老人クラブ）09：30～
- 16（日）・23（日）鳳足焼体験（まち協）  
場所：パレア若狭、13：30～
- 18（火）100歳体操（すこやかクラブ）10：00～

### Facebook ページができました！

ホームページや広報紙よりもっと気軽に、リアルタイムで情報発信していきます。スマホ以外にもパソコンからでも閲覧できます。「Facebook 宮川公民館」で検索し、フォローするか「いいね」ボタンを押して下さい。

### 12月の休館日

- 3（月）、10（月）、16（第3日曜）、17（月）、23（祝日）、24（月）、29～31（年末休館日）

### ふるさとまつりの忘れもの



体育館の玄関にあったそうです。サイズは26.5 cm。お心当たりのある方は公民館まで。

### 編集後記

公民館の四大大行事の中で最後で最大のふるさとまつりが終わり、夏から行事続きで少しお疲れモードだった宮川地区にも、ゆったりとした空気が流れています。ふるさとまつりのふり返りをして私が出たこと、それは、①地区の人は何か少し目新しいことを求めている。②それが来場者数の増加にもつながる。③子どもたち（の意見も）を大事にしなければならない。④みんなとにかく「無料」「ふるまい」が大好き（笑）です。これからの地区行事をどうするかは難しい問題ですが、「子どもたちの笑顔を見るために大人が何をできるか」だと思います。（Y）

# 宮川で

# 陶芸体験

新保山の鳳足石を釉薬に使った  
焼き物のブランド化をめざして

忙しい毎日の中に  
気分転換

無心で手ひねり  
する心地よさ

自分だけの作品を  
作ってみませんか？



鳳足石

「越前土」と「鳳足石」の融合によって生まれた奇跡のやきもの

若狭  
**鳳足焼**  
WAKASA  
HOUSOKUYAKI

ほうそくせき  
陶芸家魂に火をつけた「鳳足石」

水戸光圀公が命名したと言われる鳳足石は、かつてすずり石の素材として重用され、小浜藩がこれを高級すずりに加工し、奉納品や献上品として扱っておりました。現代になりその成分に釉薬の適正が認められ、2014年、当工房が「越前土」に「鳳足釉」を施すことで「若狭鳳足焼」が生まれました。当初は、炎の影響を受けやすいという性質から、色の不安定さが課題でしたが、試行錯誤を積み重ねた結果、神秘的な金属色とブラックパールを思わせる深く輝きのある色を出せるに至りました。



〒919-1331  
福井県三方上中郡若狭町鳥浜29-12  
TEL/FAX 0770-45-0441  
info@tou-yawaragi.jp  
清水 和也 清水 康江  
www.tou-yawaragi.jp



水滴文波カップ

フリーカップ

BLACK  
PEARL  
COLOR

GOLD  
PEARL  
COLOR

ぐい呑み

カフェカップセット

はまぐり鉢

感動パール色 ●BLACK & ●GOLDは 飽きることのない輝きで人々を魅了!